



「5つの段階」子どもの成長と親のズレ

校長 松山 浩行

新緑のまぶしい季節となりました。皆さまにおかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。新年度が始まり、1ヶ月が経ちました。生徒も新たな環境に順応し始めています。保護者の皆様にとっては、進学、進級したお子様の成長にお喜びのことと拝察します。また、思春期の子育てということで親としての悩みや心配もありではないでしょうか。いつの時代もよく言われますが、「親の心、子知らず」という言葉があります。親は子どものためと思って言っているのに子どもはうるさいとしか感じない。「いつになったら勉強するの」「少しは部屋を片付けなさい」など、親からすると子どものためを思っているのですが、子どもにとっては小言ぐらいにしか受け止めません。発達心理学では、これは親子の段階のズレが生じさせるものだそうです。親子関係は、大人になるまでの間に以下のように分けられると言われています。「①親が子を手の届く範囲に置く段階」「②親が子を目や声の届く範囲に置く段階」「③親が子を信じ、期待する段階」「④親が子と距離を取り、この判断に任せる段階」「⑤親と子が対等になる段階」の5つの段階です。そして個人差はありますが、だいたい①の段階は乳幼児期、②が幼児期、③が小学生、④が中学生から大学生くらいの時期、⑤が大学生以降と言われます。親と子どもは、それぞれ5つの段階を進んでいきますが、大事なことは子どもの方が親の認識より先にこの段階を進むということだそうです。中学生や高校生になると、だんだん自分のことを考えて、決めていきたいと思うようになります。これはつまり④の親が子と距離をとり、この判断に任せる段階を意味しています。ところが親の方は「勉強しなさい」「少しは部屋を片付けなさい」など口を出してしまいます。これは親が②の目や声の届く段階にとどまっている状態です。子どもが④の段階で、親が②の段階と大きなズレがあるので、子は親に対して「うるさい」と言ったり、親のことを無視するような態度をとったりするようになります。このように反抗期とは、子が先に親子関係の段階を進んでいるにもかかわらず、親が前の段階でとどまっていることによるズレで生じると考えられています。反抗は、子が親に対して「自分はその段階ではないよ、早く自分と同じ段階にまで進んできてよ」というメッセージであるのかもしれませんが。子が一つ先の段階に進んだのを親が敏感に感じて、親も子と同じ段階に進んで段階のズレを解消すれば、子どもは反抗する必要がありません。思春期の子どもに必ずしも反抗期があるとは限らず、反抗期を迎えない子どもも50%いると言われています。それは子どもがおとなしいわけでもなく、立派なわけでもなく、親がきちんと子の変化・発達を感じとり、それに合わせた対応をしているからなのでしょう。

思春期の親子関係については、家族での対話を大事にして、反抗期の有無だけで考えるのではなく、反抗期があった理由、なかった理由を考えてみることも大切です。

5月28日から30日までの3日間、3年生は京都・奈良の修学旅行へ行行って参ります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

今後の行事予定

5月20日 運動会予備日
21日 体力テスト(始)
22日 避難訓練
23日 専門委員会・中央委員会
24日 工事のため校庭使用不可(9～17時)
26日 生徒会朝礼 教育実習(始)
腎臓検診(4) 心臓検診
28日～30日 修学旅行
6月 4日 スタディーウィーク(始)
5日 生活リズム向上講座(1年・5組)
6日 林間学校保護者会(2年)
7日 科学センター開室式

6月 9日 全校朝礼 脊柱側弯検診
学習コンテスト(数学)
10日 スタディーウィーク(終)
11日 定期考査1週間前
12日 歯科検診
13日 教育実習(終)
16日 安全指導
17日 体力テスト(終)
18日～20日 期末考査
23日 水泳指導(始)
25日～27日 宿泊学習(5組1・2年)

☆5月9日(金) 生徒総会

生徒総会では、全校生徒からの様々な質問や意見に各委員長が直接返答していきます。今年度は、3年生から下級生への「ありがとう」「たいへんだけど頑張ってたね」という、温かい励ましの意見もたくさんありました。また、学級討議で各クラスから出てきた意見をもとに、生徒会本部から「iPadの利用の約束」や校則の「生徒会規約」改正の提案・承認が行われるなど、充実した生徒総会になりました。閉会の言葉にありましたが、学校を楽しく過ごしやすくするには、このように、生徒のみなさんが意見することが必要です。

生徒会会員のみなさんの活躍を、引き続き期待しています。

☆5月20日(火) 運動会

雨で延期となった運動会でしたが無事終えることができました。練習ではどのクラスもお互いに声をかけ合い工夫して取り組み、最初とは比べ物にならないクオリティーまで仕上げて本番を迎えることができましたね。また、ラジオ体操や係活動など勝敗に関係のないところで一生懸命取り組む姿が印象的でした。運動会期間に培った各クラスの良さをこれからさらに伸ばしていき、お互い助け合い高め合いながら今後の学校生活を送ってほしいと思います。保護者の皆様、地域・ご来賓の皆様、平日にもかかわらず朝からたくさんの方のご観覧、ありがとうございました。